

12

令和3年
12月定例会新型コロナウイルス感染症に関する支援拡充を含む
補正予算などを可決

令和3年12月定例会を11月24日から12月9日まで開会しました。津屋崎行政センター管理事業費を含む一般会計補正予算（第5号）など10の議案と、最終日に追加された子育て世帯臨時特別給付金事業費を含む一般会計補正予算（第6号）について審議しました。



予算審査の様子

12月定例会の経過 [会期11月24日～12月9日の16日間]

第1日

11月24日
●本会

- 会期を12月9日までの16日間と決定
- 市長から一般会計補正予算を含む10議案の提案説明
- 一般会計補正予算（第5号）を含む補正予算案を議員全員で構成する予算審査特別委員会に付託
- 指定管理者の指定や条例の改正を含む5議案を常任委員会に付託

第2日～第5日

11月25日～30日
●本会

- 議員13名による一般質問（⇒P8～P14）

第6日

12月2日
○予算審査特別委員会
●本会

- 一般会計、国民健康保険事業・後期高齢者医療事業・介護保険事業特別会計、公共下水道事業会計の補正予算案を予算審査特別委員会で審査（⇒P5）
- 本会にて補正予算案を審議

第7日～第9日

12月3日～7日
○常任委員会

- 付託議案を総務文教委員会、市民福祉委員会、建設環境委員会で審査（⇒P6）

第10日

12月9日
●本会

- 各常任委員会の付託議案の報告、審議
- 追加議案一般会計補正予算（第6号）を審議（⇒議案の賛否P14）

議会用語ワンポイント解説

- ①定例会……議案等の有無にかかわらず年4回定期的に招集される議会のことです。定例会は、地方自治法により毎年条例で定める回数を招集することになっており、福津市では、3月、6月、9月、12月に招集されます。
- ②議案……議会の議決を求めるため、市長や議員が提出する案件のことをいいます。

ふんちゃんを探せ！
ふんちゃんクイズヒントは
ページをめくって
私を探してね。

- ①次の定例会の開会日は？
- ②議会事務局の職員数は？
- ③予算審査を厳しくチェックしている機関は？
- ④宮司コミュニティセンターの指定管理者は？

令和3年度一般会計補正予算 13億4597万円を追加し
総額289億8533万円

商工振興一般管理費

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により冷え込んだ消費を活性化させるため、キャッシュレス決済(Paypay)を利用した際に利用額の一部を還元する第2弾の消費喚起事業費
 525万円

共働のふるさとづくり寄付金事業費

ふるさとづくり寄付金は、予定していた寄付額より増額が見込まれるため、返礼品等の必要な経費を増額する費用
 5097万円

ふくとびあ管理運営費

新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として、ふくとびあ内の地域包括支援センター事務所を館内移転し、事務所面積を拡大する費用
 1147万円

複合文化センター管理運営費

複合文化センターの空調熱源

設備に経年劣化により不具合が生じているため更新工事を行う費用
 3179万円

農林水産業経営強化事業費

新型コロナウイルス感染症の拡大により、価格低下の影響を受けたブロッコリー、キャベツを作付けする農業者に対し補助金を交付し、次の作付けに必要な種苗費、生産資材費に要する経費の負担軽減を行う費用
 281万円



補助対象となるブロッコリー

学校給食施設整備事業費

津屋崎小学校に、令和4年度

から共同調理施設と小学校校舎の複合棟増築を行うにあたり、準備工事を行う費用
 899万円



津屋崎小学校の給食施設等建設予定地

小学校校舎施設整備事業費

福岡小学校の管理特別教室棟の老朽化対策で大規模改造工事費用(2億6320万円)。また、津屋崎小学校の複合棟増築費用(1036万円)
 2億7356万円

子育て世帯臨時特別給付金事業費

18歳以下を養育している者(年収960万円以上の世帯を除く)に、子ども1人当たり5万円の現金給付を行う費用
 6億5348万円

農業用施設整備事業費

防災重点農業用ため池について、決壊の危険性を評価するため、新たに3か所(丸田ため池・招ため池・小竹ため池)で耐震調査を行う費用
 1615万円

自宅療養者生活支援事業費

新型コロナウイルス感染症による自宅療養者に対し、療養中の生活支援として、食料品・生活必需品等の提供を行う費用
 96万円

津屋崎行政センター管理事業費

津屋崎行政センターの一部を郷づくり推進協議会の事務所として活用するため、改修設計等を行う費用
 391万円



改修される津屋崎行政センター

国民健康保険条例を改正

全員賛成で可決

国の社会保障審議会医療保険部会において、少子化対策として出産育児一時金等の支給総額42万円を維持すべきとされたことを踏まえ、健康保険法施行令等の一部が改正された。それに伴い、市条例を改正する。

主な質疑

問 この改正で出産育児一時金の支給額42万円に変更が生じるのか。

答 変更は生じない。

問 出産費用の平均はどのくらいか。また、出生数は。

答 状況により幅があるが、今年度の内訳によると平均48万円。出生数は月50人前後である。

(市民福祉委員会審査報告)

宮司コミュニティセンターの指定管理者を指定

全員賛成で可決

宮司地区郷づくり推進協議会を指定管理者に決定した。

(指定の期間) 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで

複合文化センターの指定管理者を指定

全員賛成で可決

2社公募の中から、複合文化センター共同企業体を指定管理者に決定した。

(指定の期間) 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで

主な質疑

問 指定管理を請け負う会社が市外だが連絡等の問題はないか。

答 4年間の実績も含め対応可能と考えている。

問 複合文化センターを今後どのようにしていきたいか。

答 地域に根差した施設であってほしいと考えている。



地域に根差した複合文化センターに

(総務文教委員会審査報告)



観光消費の拡大が期待されるまちおこしセンター(なごみ)

まちおこしセンターの指定管理者を指定

全員賛成で可決

公募を行い、一般社団法人ひかりのみちDMO福津を指定管理者に決定した。

(指定の期間) 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで

主な質疑

問 ひかりのみちDMO福津がなごみの指定管理者に最も適当であるとの提案だが、どのようなことを期待しているのか。

答 観光振興の事業展開や分析を専門的に行っている。観光消費の拡大と、他施設への周遊性を増すことが期待できる。

総合運動公園、久末総合公園、あんずの里運動公園および宮の元公園の指定管理者を指定

全員賛成で可決

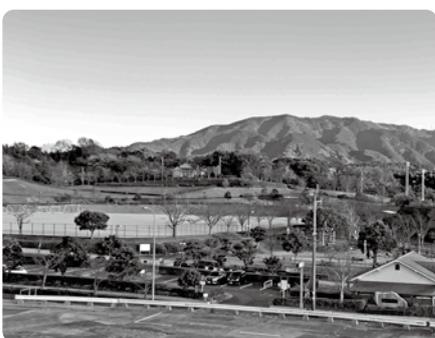
3社公募の中から、ふくつパークスグループを指定管理者に決定した。

(指定の期間) 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで

主な質疑

問 選定調査によると、ふくつパークスグループが極めて高い得点だが、高評価だった点は。

答 施設の効果的活用や安全管理、専門性や熱意が評価され、高得点となった。



効果的活用が期待される総合運動公園(なまずの郷)

(建設環境委員会審査報告)



地域商社福津いっごいに関する事業および 降雨時の排水対策について調査

農水産業振興の一翼を担う地域商社として福津いっごいが法人設立し、3年が経過した。福津いっごいに委託する事業と成果について調査した。また、近年の気象変動による降雨の局地化・集中化・激甚化に加えて、都市開発による急速な住宅化の進行と老朽化するインフラ整備について、河川、橋梁点検の状況、今後の排水対策について調査した。

(建設環境委員会所管事務調査)

▼地域商社福津いっごいに関する事業について

- 令和2年度に市は福津いっごい
に以下の事業を委託した。
- ① 福津市ふるさと納税運行代行業務 (2684万円)
 - ② 農水産品流通促進業務 (1169万円)
 - ③ 農水産品販路開拓業務 (462万円)
 - ④ 福津フェアin福扇華のパンプレット等の制作、食材、産品の調達、PR業務(48万円)
 - ⑤ 敬老の日用フラワーアレンジメント業務 (24万円)
- 福津いっごいの認知度や農水産業従事者との信頼関係の構築に不足がある事は否定できない。また、JAとの関係もさらに強固にしていく必要があると考える。

今後、福津いっごいに求めるものは、農水産品のブランディングやヒット商品の開発、販路拡大、県外へのプロモーションの担い手としてさらに成長していくことである。また、存在価値を高め第1次産業の振興および市特産品の高付加価値を目指すことも期待する。市内直売所間流通事業では、各直売所の充実を図るために早急な課題解決が必要と考える。設立当初の令和5年度の売り上げ目標は4億2千万円だったが、現状での見直しは2億1千万円である。稼げるまち福津を実現するためにも、市は、ふるさと納税の寄付額をさらに伸ばすよう努力し、福津いっごいは農水産品の魅力を発信することで、市の財産の一つになることを期待している。



ふるさと納税の魅力ある返礼品の数々

▼降雨時の排水対策について

河川の管理現状については、県管理の二級河川(西郷川等)のほか、市の3つの所管課で分散管理している。浸水対策として、県営河川は県に要望し県の事業として実施している。橋梁の点検および補修状況については、5年間で点検に要した費用は1億5000万円である。平成25年度以降の本格的な補修費用は、24橋を対象に7億円である。

今後の排水対策は、福津市開発事業指導要綱で1ha以上の開発に求めている調整池の設置を1ha以下でも求めることとした。また、雨水の排出抑制のために浸透枘設置も協力要請している。さらに、雨水総合管理計画策定を視野

に入れている。

県営河川である西郷川およびその水系の浚渫や護岸補修は、引き続き、県に対して迅速な対応を求める必要がある。そのためにも、今回、県が立ち上げた二級水系流域治水プロジェクトに実行性のある論議・検討を期待したい。

開発の場合、福津市開発事業指導要綱の範囲内であり、法的な拘束力もないため、条例の制定等で縛りを強める必要がある。河川や橋梁の補修等に多額の費用がかかるが、方が一の被害発生時の損害の方がさらに多大なることを鑑み、しっかりと予算化を行い、取り込む必要がある。



土砂など堆積物の除去(浚渫)が急がれる西郷川